

シンポジウム

新学習指導要領に関する、多様な学びの場における取組や課題について

シンポジスト

横倉 久 氏（全国特別支援学校長会 会長、東京都立大塚ろう学校校長）

山中 ともえ 氏（全国特別支援学級設置学校長協会 会長、東京都調布市立飛田給小学校校長）

大字 弘一郎 氏（全国連合小学校長会 監事、東京都世田谷区立山野小学校校長）

司会

明官 茂（国立特別支援教育総合研究所上席総括研究員）

【趣旨説明】

説明者 明官 茂（国立特別支援教育総合研究所上席総括研究員）

本研究所の明官から、シンポジウムの趣旨説明がなされた。全国特別支援学校長会、全国特別支援学級設置学校長協会、全国連合小学校長会の考えを相互に知ることによって、多様な連続した学びの場において、インクルーシブ教育システムをどのように推進していくことができるのかについて考える機会とする。

（以上、要項p5参照）

【提言1】

「校長のリーダーシップと学習指導要領の理念の実現」

報告者 横倉 久 氏（全国特別支援学校長会 会長）

全国特別支援学校会の横倉氏からは、全国の特別支援学校長会評議委員へのアンケート調査結果をもとに、学習指導要領の理念を実現するために、学校組織をどう機能させていけばいいのか、全国の特別支援学校の校長の問題意識やマネジメントの視点に触れながら報告、提言が行われた。

【提言2】

「インクルーシブ教育の推進」

報告者 山中 ともえ 氏（全国特別支援学級設置学校長協会 会長）

全国特別支援学級設置学校長協会の山中氏からは、小・中学校の児童生徒が減少する中、特別支援学級や通級による指導を利用する児童生徒が増加しており、多様な学びの場への期待が高まっていること、次期学習指導要領において、通常の学級における特別な配慮を必要とする児童生徒への指導として、特別支援教育を重視する内容が示された。これを受けて、全国特別支援学級設置学校長協会実態調査の結果をもとに、インクルーシブ教育シ

システムの構築に向け、多様な学びの場における現状と課題について、報告、提言が行われた。

【提言3】

「小学校における特別支援教育に関する調査を踏まえて」

報告者 大字 弘一郎 氏（全国連合小学校長会 監事）

全国連合小学校長会の大字氏からは、全国連合小学校長会特別支援教育委員会が、全国の小学校における特別支援教育の一層の充実に向け、特別支援教育の推進上の課題に焦点を当てた調査を継続して実施していることが紹介され、その最新の調査結果を報告するとともに、小学校における特別支援教育のより一層の充実に向けた意見及び提言が行われた。

【討論】

討論者 明官 茂（国立特別支援教育総合研究所上席総括研究員）

本研究所の明官から、シンポジストにそれぞれ質問を行った。まず、横倉氏の提言について、知的障害特別支援学校における教科の取扱における、教科別の指導と「合わせた指導」の在り方について尋ねた。次に、山中氏の提言について、特別支援学級及び通級指導教室の充実の条件及び中心的課題について尋ねた。最後に、大字氏の提言について、教員、保護者の理解の促進の重要性について、校長が考えるべきことについて尋ねた。

回答者 横倉 久 氏（全国特別支援学校長会 会長）

全国特別支援学校長会の横倉氏からは、知的障害特別支援学校の児童生徒の「主体的・対話的で深い学び」の具体的展開と、学びの連続性を意識した教育課程の編成・実施・評価が課題になっていること、児童生徒にどのような資質・能力を身につけさせていくかが重要であって、「合わせた指導が中心」「教科別の指導が中心」という分け方にするのではないという回答があった。

回答者 山中 ともえ 氏（全国特別支援学級設置学校長協会 会長）

全国特別支援学級設置学校長協会の山中氏からは、多数の学校からぜひ特別支援学級を設置したいという声が出るようなステータスの向上を目指すことが示された。担当の教員の専門性向上における研修の重要性をはじめ、特別支援学校の自立活動を教育課程に組み込むことによる教育課程の充実、交流及び共同学習の充実、道徳の特別支援学級での取扱の重要性、といった課題があるとの指摘があった。通級指導教室については、体制の遅れ、自立活動の進め方、専門性の向上、通常の学級との連携、医療機関などとの連携、障害理解、多様性の尊重といった課題があるという回答があった。

回答者 大字 弘一郎 氏（全国連合小学校長会 監事）

全国連合小学校長会の大字氏からは、目の前の子どもを理解し、なんとかしたい、成長させたい、という教員の思いを大切に、子どもと関わり、それを通して深めていく、そうした動きができる体制をつくることが示された。例として5月の連休前にポイントを

整理して校内委員会を開き、専門家の助言の下に自信を持って保護者に対応する、という回答があった。

【質疑応答】

フロアから、基調講演に出ていた道徳科との関連について、特別支援学級での適切な指導について質問があった。

回答者 横倉 久 氏（全国特別支援学校長会 会長）

全国特別支援学校長会の横倉氏からは、特別支援学校での道徳については全体計画を立てて実施しているが、道徳を「合わせた指導」の中で実施することについての評価の議論は今後の課題になるだろうという回答があった。

回答者 山中 ともえ 氏（全国特別支援学級設置学校長協会 会長）

全国特別支援学級設置学校長協会の山中氏からは、障害の実態に合わせて実施していくこと、子どもの実態に応じて実施していくことが大切であるという回答があった。

（予定の時間となり、司会が、この回答を以って閉会とした。）